



JUNSEI

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (外原規) ラウリン酸 Lauric acid
整理番号 81071
作成日 2013年3月5日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門 営業本部 学術担当
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1 - 6
電話番号 048-988-3621 FAX 番号 048-988-8719
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は医薬部外品等の原料として配合することが認められた成分です。
使用基準に従って御使用下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 事業者向け GHS 分類ガイダンス (H22.3 版) を使用

物理化学的危険性
自然発火性固体 : 区分外
健康に対する有害性
急性毒性 経口 : 区分外
環境に対する有害性
水性環境急性有害性 : 区分 3
水性環境慢性有害性 : 区分外

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】 : 該当なし

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: ラウリン酸
別名: ドデカン酸
化学式: データなし
CAS No: 143-07-7
EINECS No: 205-582-1
含有量: 医薬部外品原料規格 2006 「ラウリン酸」適合
化審法: 2-608
安衛法: 公表

4, 応急措置

吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

予想される急性症状及び遅発性症状: データ無し

最も重要な徴候及び症状: データ無し

応急措置をする者の保護に必要な注意事項: データ無し

医師に対する特別な注意事項: : データ無し

5, 火災時の措置

消火剤

水噴霧、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

棒状注水

消火方法

周辺火災の場合、出来る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性: データなし

特有の消火方法: データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具: 防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 強酸化剤との接触に注意する。

保管

- 火気厳禁。
- 密栓して換気の良い冷暗所に保管する。
- 強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、ミスト、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度(労働安全衛生法): 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2012年度): 設定されていない

ACGIH(2010年): 設定されていない

設備対策

局所排気装置、安全シャワー、洗眼器

保護具

- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観: 白色の固体

臭い: 特異臭

pH: データなし

融点: 44

沸点: 225 (100mmHg)

引火点: 165 (Open Cap)

爆発範囲の上限・下限: データなし

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重/密度: 0.869(50 / 4)

溶解度: 水に不溶

n-オクタノール/水分配係数: log Kow = 4.60

自然発火温度: データなし

分解温度: データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 常温常圧で安定

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など): 日光、熱及び混触不可物質との接触

混触不可物質: 強い酸化剤、強アルカリ

危険な分解生成物: データなし

危険な重合反応: しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

ラットLD₅₀値=12,000mg/kg に基づき区分外とした。

急性毒性 経皮

データなし

急性毒性 吸入:ガス

GHS定義による固体

急性毒性 吸入:蒸気

データなし
急性毒性 吸入:粉塵ミスト
データなし
皮膚腐食性/刺激性
データなし
眼に対する重篤な損傷性/刺激性
データなし
呼吸器感受性
データなし
皮膚感受性
データなし
生殖細胞変異原性
データなし
発がん性
データなし
生殖毒性
データ不足
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)
データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)
データなし
吸引性呼吸器有害性
データなし

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

魚類(ニジマス)の96h, $LC_{50} = 35$ mg/L (HSDB)に基づき区分3とした。

水性環境慢性有害性

データなし

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号: 非該当

品名: 非該当

国連分類: 非該当

容器等級: 非該当

海洋汚染物質: 非該当

緊急時応急措置指針: 非該当

15, 適用法令

消防法： 第9条の4、政令別表第4 指定可燃物、可燃性固体類(3,000kg)
毒劇法： 非該当
P R T R法： 非該当
労働安全衛生法： 非該当
船舶安全法： 非該当
航空法： 非該当
薬事法： 医薬部外品原料規格 2006

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス14版 05384
 - NITE GHS 分類マニュアル(H22.3 版)
 - 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
 - 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
 - Hazardous Substances Data Bank (HSDB)
-

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。